

きれいな学校 輝く笑顔 ~J(授業) A(挨拶) S(清掃) M(身だしなみ) N(仲間)~



# 大久保中だよい

〒338-0815 さいたま市桜区五関282

Tel 048-852-3554 Fax 048-840-1430

Mail Address : okubo-j@saitama-city.ed.jp

一人ひとりの幸せな人生と豊かな社会を実現するために

校長 海江田 なぎさ

旧年中も、保護者・地域の皆様には、さまざまな形で本校の学校教育活動に御理解・御協力をいただき、ありがとうございました。大久保神社氏子・大久保中学校学校運営協議会主催で実施した「大久保神社社叢クリーン活動」では、多くの保護者、地域の方々とともに、55名の生徒が活動に取り組むことができました。御協力をいただき、ありがとうございました。

一人ひとりの豊かで幸せな人生と社会の持続的な発展の実現に向けて、子どもたちに育みたい力について、昨年を振り返りながら二つ取り上げます。

一つ目は、「自ら学び、考え、主体性をもって行動する力」です。

昨年は、今まで以上にAIを身近に感じることが多くなり、目の前の子どもたちに身に付けてほしい「学力」とは何なのかということを考えることが、たびたびありました。

「社会の変化を前向きに受け止め、答えのない課題に、対話と協働で向き合える力」を育てる必要があると感じるとともに、その素地となる「勉強する(できるようになる)(考える)(挑戦する)のは楽しい」という思いを育むことの必要性を改めて感じています。今年も引き続き「生徒が主体的に学ぶ授業づくり」に学校全体で取り組みます。

二つ目は、「社会参画意識」です。

昨年、私は民主主義の価値について考え直すことが多くありました。目指すべきはやはり「一人ひとりが大切にされ、他者との関わりの中で『幸せと豊かさ』を求めるこができる社会」であると考えます。学校は「小さな社会」であり、自分たちの行動で自分たちの生活がよりよくなつたと感じられたり、問題を解決することができたと感じられたりする経験が、このような社会の担い手を育てることにつながります。

「全国学力・学習状況調査」の「生活習慣等に関する調査」の中に「地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか」という質問項目があります。コロナ禍の令和4年度調査では、「当てはまる」「どちらかというと当てはまる」「どちらかというと当てはまらない」「当てはまらない」の選択肢のうち、「当てはまる」の本校の回答率は4.3%でしたが、その後、年を追うごとに上昇し、令和7年度には31.6%となりました。この回答率は、全国平均(22.4%)と比較してもかなり高い値です。地域、地域の担い手としての保護者の方々の、子どもを見守り育もうと考えてくださる意識の高さの表れであり、本校はかなり恵まれた環境にあると言えます。

生徒会本部役員が12月の学校運営協議会において「今まで以上に地域に対する生徒の意識を高めるための方策」について提案してくれましたが、今年も、子どもと大人が力を合わせて、生徒の社会参画意識を高める取組の充実を図ります。

3学期は、年度のまとめの学期であると同時に、「次の学年(3年生は次のステージへ)の0学期」とも言える大切な学期です。今学期も、保護者・地域の皆様の御理解・御協力を賜りながら、充実した教育活動を目指してまいります。今年も、どうぞよろしくお願ひいたします。



大久保中学校屋上から望む富士山  
(2026.01.06)